

平成27年 林業における死亡労働災害（北海道内）

番号	災害発生日時等	年齢等	災害発生状況
27年 NO1	1月26日 4時頃	男 64歳	被災者は作業員等5名とともに造林地にて植栽木の枝払い作業を行っていたところ、一部の作業員が熊らしき黒い物体を発見して即座に避難したが、被災者だけ見当たらなかったため現場付近を捜索したところ、被災者が熊の巣穴付近でうつ伏せの状態で見つかるのを発見した。被災者は脳挫傷等により死亡した。 熊が被災者の近くに巣穴から飛び出して被災者を襲ったものと推定される。
27年 NO2	4月30日 午前11時頃	男 66歳	被災者は、個人住宅の樹木の伐木作業のため、樹木にはしごを固定し、これに昇って上方の幹に滑車を介したロープをかけて幹を切断し、滑車を利用して切り取った幹を地上に降ろす作業をしていたところ、被災者がくさびを打ち込んでいた幹が折れ始めたため、これに当たらないようにはしごを降りる途中、足を踏み外して地面に墜落した。
27年 NO3	9月8日 午前11時頃	男 80歳	災害発生場所の火山礫を採取する為、同山林の天然林を伐採する作業において、被災者が木の下敷きになり倒れているのを、同僚が発見した。災害発生現場の状況から、被災者が木を伐倒した際に、伐倒した木にかかっていた木（風倒木）も倒れたため、かかっていた木の下敷になったと推定される。
27年 NO4	11月25日 午後3時頃	男 59歳	被災者は、チェーンソーを使用し、トドマツ欠損木（樹高8メートル、胸高直径26センチメートル）の伐倒作業を行うため受け口を作り追い口切りをしたところ、欠損木が倒れなかったため印をつけて放置していたが、何らかの原因で欠損木が倒れ被災者の胸部に当たった。